英語

出 題 の 傾 向

今年もこれまでと同様の出題方針を取っており、長文の問題・文の書き換えの問題・整序の問題・会話の問題・語いの問題・空所補充の問題・アクセントの問題・発音の問題・英作文の問題を出題しました。出題範囲も例年通り、既習内容が多く、教科書やワークブックに載っている単語・熟語・構文を身につけておけば、多くの問題に対応できます。

2026 今年度の出題と解説

1 長文の問題

本文内容の一致、英問英答、そして指示語の問題を出しました。今年度は世界各国の年越し文化に関して、日本とスペインの例を挙げ、会話を通じてそれぞれの国の文化が異なること、その文化・風習の持つ意味合いに関する内容を出題しました。

問１　本文の内容一致問題です。全体的な正答率は悪くなく、大まかな英文は読み取れていたように思います。内容一致の問題は本文中から正確に読み取ることが大事です。

問２　英問英答の問題です。本文中より解答のポイントになるキーワードを探してくることはできていましたが、文で答える際に、文ではなく単語のみで答える答案が多く見られました。例えば、(3) How many times does the bell ring on New Year's Eve in Spain?という質問に対して、主語と動詞をつけずに12 timesのみの答案が多くありました。英問英答の問題では本文の英文を利用して、主語と動詞もあわせて答えることが大切です。また、twelveとtwentyを間違えている答案や、traditionをtraditionalと書き写し間違えるなどの基本的な間違いも目立ち、答えのポイントは分かっているのに減点されている惜しい答案も多く見られました。

問３　本文中の語が示す具体的な内容を日本語で答える問題です。(1)themが指す内容ではwho were popular last yearの部分や、manyやfamousが欠けている答案が多くみられました。指示語を説明する問題はその前後に修飾要素として置かれる関係詞や形容詞もあわせて答える必要があります。

また、It is ~ to...の形の文章では、形式主語のItの内容がto以下にあることが理解できていない答案も多く見られました。形式主語の読み方、使い方にも慣れることが大切です。

2 文の書き換えの問題

文の書き換えの問題に関する正答率は全体的に非常に悪く、文法が苦手な受験生が多かったように思います。その中で(1)(4)は比較的できていました。(4)ではmadeをmakeやmakedにする解答が目立ちました。時制をよく確認し、基本動詞の変化形を覚える必要があります。 (5)は正答率が低く、書き換えに慣れていない印象を受けました。moreとmostを間違える、difficulterと書く、difficultの綴りが正しく書けていないなどの答案が目立ちました。difficultのように、よく使う単語は書けるように練習しておくことが必要です。この形式の問題はワークや問題集によく掲載されているので、繰り返し練習することが大切です。

3 整序の問題

今年度も与えられた語句をすべて使用せずに書く答案がありました。また、並べることはできているのに、写し間違えたために減点された答案も多くあります。応用的な問題を理解しているにもかかわらず上記のようなケアレスミスで減点されてしまい、非常に勿体なく感じました。特に(2)の間違いが多く、call A B のような文の形が苦手な人が多いように感じました。My motherのあとにthe catを書くなど、基本的な英文の構造を間違える答案も多く見られました。教科書や問題集に載っている基本的な例文を暗唱して、基本的な英文の構造に慣れておくことが大切です。

4 会話の問題

会話文はどの問題も正答率が高く、解きやすかったように思います。会話問題では空所の直前と直後から答えを導く必要があります。会話文全体を読み、答えを選ぶようにしましょう。

5　語いの問題

語いの定義が英語で示されています。(1)(2)の月と曜日はほぼ毎年出題していますので正答率は高かった一方で、a、u、o等の文字の識別ができないために減点される答案が多く見られました。綴りを間違いなく覚えることも大切ですが、それぞれの文字をはっきりきれいな字で書くことも大切です。(4)のrabbitが難しかったようです。身近な語いの中でも綴りを間違えやすい単語は出題される可能性が高いので、丁寧に覚えておきましょう。

6　空所補充の問題

教科書レベルの文法力を試す問題です。(2)の間違いが多く、be surprised at~のように、決まって一緒に使う動詞や形容詞と前置詞の組み合わせはセットで覚えるようにしましょう。(4)のような可算名詞と不可算名詞の扱いを問う問題では、(　)の前後にある複数名詞などを手がかりに判断すると間違えにくくなります。書き換え問題、整序の問題を含め、文法問題は偏りなく、少しずつ出題していますので、参考書などを効果的に使い、正確な文法的知識も身につけていきましょう。

7　8　アクセント・発音の問題

アクセントと発音の問題は日頃から英文を音読する習慣がついている受験生が多いためか、全体的に正答率が高く出ていました。この種の問題への対応は普段の音読が重要です。発音をきちんと覚えることで、リスニングの力も養えるので、日々丁寧に音読をしていきましょう。

9　英作文の問題

例年通り、条件付きの英作文を出題しました。今年度は「相手にどうやって英語を勉強しているのかたずねる場合」を問いました。Howを使わずにWhatを使用している解答など、基本的な疑問詞を間違えてしまう答案が多く見られました。また、疑問詞の後の語順を間違えている解答や、Englishや文末のクエスチョンマークが抜け落ちているなどの基本的なミスも見られました。疑問詞を使った文章に慣れることにあわせて、書き終えてから目を通して情報の抜け落ちがないかを確認するようにしましょう。

対策とアドバイス

応用問題も少し見られますが、全体的には学校で使用する教科書や問題集の範囲を大きく逸脱することはありません。基本的なレベルの問題を中心に勉強しておけば十分に合格点を取ることができます。定期考査や実力問題を復習し、授業中に出てきた単語、熟語、文法はその都度使えるようにしておきましょう。また、英語を書く練習が不足していると思われる答案が目立ちます。基本的な綴りは確実に書けるようにすること、そして、教科書や問題集の英問英答問題に答えられるように練習していきましょう。本校の過去問を解いて出題傾向を理解することも大切です。

最後に、音読をする習慣を身につけておきましょう。一つ一つ丁寧に音読し、書いて覚える勉強法を実践してください。